

海外食料需給レポート

(平成30年11月)

平成30年12月6日

農林水産省

海外食料需給レポートについて

1 意義

我が国は食料の大半を海外に依存していることから、そのうち、主食や飼料原料となる主要穀物(米、小麦、とうもろこし)及び大豆を中心に、安定供給に向けて世界の需給や価格動向を把握し、情報提供する目的で作成しています。

2 対象者

このレポートの対象は国民の方々の中でも、特に、原料の大半を海外に依存する食品加工業者及び飼料製造業者等に対し、安定的に原料調達を行う上での判断材料を提供する観点で作成しています。

3 重点としている事項

我が国が主に輸入している国や代替供給が可能な国、それに加えて我が国と輸入が競合する国に関し、国際相場や需給に影響を与える情報（生育状況や国内需要、貿易動向、価格、関連政策等）について重点的に記載しています。

4 公表頻度

月1回、月末を目処に作成、公表します

5 ここに記載のない情報は以下を参照願います。

(1) 農林水産省の情報

ア 我が国の食料需給表や食品価格、国内生産等に関する情報

- ・食料需給表：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/>
- ・食品の価格動向：<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/anpo/kouri/index.html>
- ・米に関するマンスリーレポート：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

イ 中・長期見通しに関する情報

- ・食料需給見通し(農林水産政策研究所)：<http://www.maff.go.jp/primaff/seika/jyukyu.html>

(2) 農林水産関係機関の情報 (ALIC の情報サイト)：<https://www.alic.go.jp/>

- ・砂糖、でんぷん：<https://www.alic.go.jp/sugar/index.html>
- ・野菜：<https://www.alic.go.jp/vegetable/index.html>
- ・畜産物：https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_000168.html

(3) その他海外の機関 (英語及び各国語となります)

ア 国際機関

- ・国連食糧農業機関 (FAO)：<http://www.fao.org/home/jp/>
- ・国際穀物理事会 (IGC)：<https://www.igc.int/en/default.aspx>
- ・経済協力開発機構 (OECD) (農業分野)：<http://www.oecd.org/agriculture/>
- ・農業市場情報システム (AMIS)：<http://www.amis-outlook.org/>

イ 各国の農業関係機関(代表的なものです)

- ・米国農務省 (USDA)：<https://www.usda.gov/>
- ・ブラジル食料供給公社 (CONAB)：<https://www.conab.gov.br/>
- ・カナダ農務農産食品省 (AAFC)：<http://www.agr.gc.ca/eng/home/?id=1395690825741>
- ・豪州農業資源経済科学局 (ABARES)：<http://www.agriculture.gov.au/abares>

目 次

概要編

I	2018年11月の主な動き	1
II	2018年11月の穀物等の国際価格の動向	2
II	2018/19年度の穀物需給（予測）のポイント	2
III	2018/19年度の油糧種子需給（予測）のポイント	2
V	今月の注目情報	
	米国の収穫と貿易の動向	3

(資料)

1	穀物等の国際価格の動向	6
2	穀物の生産量、消費量、期末在庫率の推移	7
3	原油価格、為替、海上運賃の動向	8
4	平成30年5月以降の食品小売価格の動向	9

品目別需給編

I	穀物	
1	小麦	1
2	とうもろこし	5
3	米	9
II	油糧種子	
	大豆	14

【利用上の注意】

(概要編)

I 2018年11月の主な動き

1 米国のとうもろこし、大豆の良好な作柄と輸出動向

11月18日現在、米国のとうもろこしの収穫率は90%、大豆は91%と、降雨のため平年より遅れている。米国農務省(USDA)の11月の需給報告によれば、とうもろこし、大豆の生産量はそれぞれ下方修正されたものの、とうもろこしは史上最高の単収で生産量は2016/17年度に次ぎ史上2位、大豆の生産量は史上最高となる見込みは変わらず。

なお、世界的な小麦の減産により、飼料需要の代替性のあるとうもろこしについて世界の輸入量が史上最高となる中、2018/19年度の米国産とうもろこしの輸出量は史上最高だった2017/18年度と同水準となるものの、ウクライナやアルゼンチンの増産による輸出増からシェアは低下すると見込まれている。

2 南米の作付け動向

ブラジルでは、降雨に恵まれ、11月上旬時点で、大豆、夏とうもろこしの作付けは例年より早く7割程度終了した。ブラジル産大豆の中国向け輸出の増加等から、2018/19年度において、大豆及び主に大豆収穫後に二毛作で栽培されるとうもろこし双方の作付面積が増加する見通しである。

一方、アルゼンチンでは、2018/19年度については、11月22日現在、とうもろこし(作付進捗率37%)、大豆(同30%)とも作付け中であるが、アルゼンチン政府は、干ばつであった前年度と比較して大豆の生産量は44%増加する等、大幅な生産増を見込んでいるが、これは、輸出税等の税収増の期待も背景にあることによる。

3 中国の国家統計局データの更新と世界穀物需給への影響

USDAは、11月の需給報告において、中国国家統計局の2007年まで遡及した生産量データの見直しに合わせ、中国の米、小麦、とうもろこし等の生産量を見直し、それを踏まえ、消費量、期末在庫量等の見通しも修正。(なお、中国は在庫量は公表せず)

特に、とうもろこしについては中国で生産量、期末在庫量が大幅に上方修正されたため、世界の期末在庫量や在庫率も大幅に増加、上昇している。

しかしながら、世界の在庫量について議論する際、その約2/3を占める中国内の在庫は、国内需要向けである上に、国際市場での価格競争力が乏しいことに留意する必要がある。

(参考)2018/19年度末の世界の在庫率と在庫量に占める中国のシェア (USDAによる)

	世界の在庫率の変化		世界の在庫量のうち中国のシェア
	10月報告	11月報告	11月報告
小麦	34.9%	→ 35.8%	53.8%
とうもろこし	14.4%	→ 27.2%	67.5%
米	29.7%	→ 33.4%	69.3%

II 2018年11月の穀物等の国際価格の動向

小麦は、10月下旬は、180ドル/トン台半ばで推移。その後、米国主要産地での冬小麦の作付けの遅れや、豪州での生産量の下方修正から11月中旬に190ドル/トン前後まで値を上げたものの、世界的に供給が潤沢であることから、11月下旬現在、180ドル/トン台前半で推移。

とうもろこしは、10月下旬は、140ドル/トン台前半で推移。その後、米国中西部での降雨による収穫遅延への懸念や米国農務省需給報告で米国产の単収、在庫量が下方修正されたこと等から11月上旬に140ドル/トン台後半に値を上げたものの、豊作となったウクライナの輸出増加等から、11月下旬現在、140ドル/トン台前半で推移。

米は、10月下旬は、420ドル/トン台半ばで推移。その後、タイの新穀が市場に徐々に回り始めたことから、11月下旬現在、420ドル/トン台前半で推移。

大豆は、10月下旬は、300ドル/トン台前後で推移。その後、11月中旬に米中通商問題解決への期待に向けた報道から、一時320ドル/トン台後半に値を上げたものの、11月下旬現在、320ドル/トン台前半で推移。

(注)小麦(12月限)、とうもろこし(12月限)、大豆(11月限、1月限)はシカゴ相場、

米はタイ国家貿易委員会価格

III 2018/19年度の穀物需給(予測)のポイント

世界の穀物全体の生産量は、前月から上方修正され 26.0 億トンとなるものの、消費量の 26.4 億トンを下回る見込み。

また、前月と比べ、期末在庫率は上方修正され 28.9%となった(資料2参照)。

(注：数値は米国農務省需給報告による)

※なお、中国の国家統計局の過去に遡及したデータ更新による上方修正が反映されている。

(注：数値は米国農務省需給報告による)

生産量は、前年度と比較して、とうもろこしが増加するものの、小麦、米が減少するため、前年度をわずかに下回り 26.0 億トンの見込み。

消費量は、小麦、とうもろこし、米とも前年度を上回り、世界全体では前年度を上回る 26.4 億トンの見込み。

貿易量は、小麦は減少も、とうもろこし、米が増加し、4.3 億トンと前年度を上回る見込み。

期末在庫量は、7.6 億トンと前年度に比べ減少し、期末在庫率も 28.9%と前年度(31.1%)に比べ低下する見込み。

IV 2018/19年度の油糧種子需給(予測)のポイント

油糧種子全体の生産量は、前月より下方修正され 6.00 億トンとなり、消費量も下方修正され 5.85 億トンとなったため、生産量が消費量を上回る見込みは変わらず。

一方、期末在庫の積増しにより、期末在庫率は前年度より上昇し 21.6%となる見込み。

(注：数値は米国農務省需給報告による)